



▶あいさつをする清宮会長

子ども会活動の中⼼に ジュニアリーダースクラブ発足式

本町に「ジュニアリーダースクラブ」が発足し、2月12日

日、発足式が中央公民館で行われました。

地域の子ども会活動などで、小さな子どもの先頭に立つて活躍する、ジュニアリーダー。

町では、「子ども会育成連絡協議会」と連携して講座を開講し、養成に取り組んできました。

今回、全6回の初級講座を修了した子どもたちをメンバーとして、ジュニアリーダースクラブが発足。会長に就任した清宮翼くん（白里中2年）は「仲間の輪を広げて、クラブを盛り上げていきた

電や節水に取り組み、削減で受けた光熱水費の半額の還元を受ける「ファイフティ・ファイティ活動」。2月に町から、各中学校の生徒会に約39万円が渡されました。3中学校では、これに生徒からの募金などを足した63万円を、福島県東京事務所に義援金として寄付しました。

2月24日、3校を代表して、増穂中学校の生徒会役員4人が事務所を訪問。「福島のために役立てほしい」と事務所の仲沼安夫次長に義援金を手渡しました。



▲義援金を手渡す生徒（朝日新聞社提供）

3中学校では今年度、来年度も活動を続け、被災地への支援にあてる方針。生徒会長の宮谷拓斗さんは「一年目は水道料金の節約が十分でなかつたので、掲示物を用意するなど、今年度も取り組んでいきたい」と目標を話しました。

「ファイフティ・ファイティ」と抱負を語りました。また、子ども会育成連絡協議会の八角榮子会長は「今日は第一歩。クラブができることで、基本を学び、いろんな活動をして、巣立つていってほしい」とエールを贈りました。

「シェイクハンズ」は、ペットボトルのキャップを集め、世界の子どもたちにワクチンを贈る「エコキャップ活動」を通じて、ハンドハイキヤ

中学生が義援金を福島へ ファイフティ・ファイティ活動

町内3中学校の中学生が節電や節水に取り組み、削減で受けた光熱水費の半額の還元を受ける「ファイフティ・ファイティ活動」。2月に町から、各中学校の生徒会に約39万円が渡されました。3中学校では、これに生徒からの募金などを足した63万円を、福島県東京事務所に義援金として寄付しました。

2月24日、3校を代表して、

増穂中学校の生徒会役員4人

が事務所を訪問。「福島のた

めに役立てほしい」と事務

所の仲沼安夫次長に義援金を

手渡しました。

3中学校では今年度、来年

度も活動を続け、被災地への

支援にあてる方針。生徒会長

の宮谷拓斗さんは「一年目は

水道料金の節約が十分でなかつたので、掲示物を用意する

など、今年度も取り組んでいきたい」と目標を話しました。

月19日、南消防署の指導のもと、初期消火や応急救助等訓練を実施しました。

若葉区自主防災組織が、2

<p